

椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

TEL 0983-32-2028

FAX 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

家庭教育学級 ヨガ教室

11月30日(水) 木城小学校の講堂でヨガ教室を木城小学校と合同で開催しました。



30名を超える参加者で、1時間ほどの内容でした。普段使わない身体の部位をほぐしたり、マッサージをしたりして、ツボを刺激しながら健康増進につなげました。ヨガを終えた後、一日の心身の疲れが取れました。

生徒会役員による活動発表

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会[県央ブロック]研修会が12月2日(金) 木城町福祉センターで開催されました。生徒会役員の神田魁星くん、久家亮輔くん、大山晴幸くんが「命を守る勇気ー 防災ボランティア体験を通してー」というテーマで活動発表をしました。

発表内容は、「本年度の生徒会活動としてのボランティア活動」「夏休み防災ボランティア体験」「避難訓練」「今後の本校のボランティア活動」について

でした。曾田明美先生のご指導の下に、プレゼンテーションの内容や発表原稿を準備しました。

3名の生徒による発表は、とてもはきはきとしていて参加者と関係スタッフの方に講評でした。



沖縄への修学旅行2年生

2年生が12月4日(日)から12月6日(火)にかけて沖縄県で2泊3日の修学旅行を実施しました。初日は、南城市にあるアブチラガマに行きました。ひめゆりの塔で知られている所です。第二次世界大戦での沖縄の人々の苦しみを生徒たちは感じ取っていたそうです。初日から2日めにかけて、生徒たちは本部町での民泊を行い、沖縄の文化に触れることができました。

3日めは、モノレールに乗って、首里城や国際通りを散策しました。3日間の修学旅行を通して、沖縄の方々の温かさに生徒たちは触れることができ、生徒一人一人が沖縄県ならではの貴重な体験活動をすることができました。



ロードレース・駅伝大会

12月16日(金)、小丸川の河川敷で、ロードレース・駅伝大会がありました。リバリス前にある町グラウンドで開会式があり、準備運動をしたり、ウォーミングアップをしたりしました。

まず、女子のロードレースがありました。約2kmのコースを全学年女子が走りました。続いて、男子のロードレースがあり、3kmのコースを競いました。

そして、学級対抗駅伝大会があり、男子3区間、女子3区間でたすきをつなぎました。男子の1区間は2km、女子の1区間は1kmでした。

日頃の練習の成果を十分に発揮した3年B級が優勝しました。この大会を通じて、途中でリタイアする生徒もなく、参加した生徒全員が完走できたことはとても素晴らしいことでした。



「ものごとは『数学』で考えよ！」

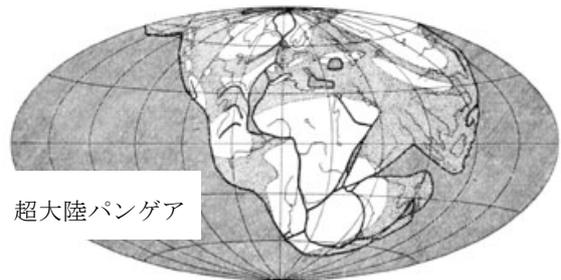


アルフレート・ヴェーゲナー(1880～1930)は『大陸移動説』を提唱したドイツの気象学者です。

ベルリンで生まれ、大学では気象学を学び、その後、グリーンランド探検に志願

して、遠征隊に加わりました。第一次世界大戦後は、気象観測所で働きながら、大西洋の兩岸の古代生物が似ていることを研究し、1912年には学会で『大陸移動説』を唱え、1915年「大陸と大洋の起源」を出版しました。

ヴェーゲナーの説は、約3億年前には、地球上の大陸が一つに集まった巨大大陸(超大陸パンゲア)となっていて、その後、分裂し、現在の位置まで移動してきたというものです。



しかし、これを認める科学者はほとんどいませんでした。また、当時の科学技術では、大陸を動かす仕組みを突き止めることができず、『大陸移動説』は否定されてしまいました。

『大陸移動説』は1950年以降に認められるようになりますが、彼は、そのことを知ることなく、残念ながら、5回目のグリーンランド探検中に遭難して亡くなってしまいました。

彼の残した言葉に「物事は「数学」で考えよ」というのがあります。固定観念を捨て、感情的にではなく、論理的に物事を考えると真実が見えてくるということだと思います。ヴェーゲナーは、信念を貫き通した科学者だったのです。

